

第 12 回地球環境シンポジウム

【行事コード：E439 / 略称：12 回地球環境シンポ】



土木学会地球環境委員会では恒例の地球環境シンポジウムを 8 月 2 日（月）3 日（火）に名古屋大学環境総合館（東山キャンパス内）にて開催いたします。一般セッション（論文発表）パネル展示に多数の応募を頂いており、地球環境問題に関する幅広い分野からの発表が予定されています。パネル展示に対しては、昨年同様、地球環境問題の解決に貢献する土木・環境技術と活動に関する展示に対して、それぞれ『地球環境技術賞』と『地球環境貢献賞』が授与されます。また、論文発表に対しては、独創性と将来性に富むと認められたものに『地球環境講演論文賞』が授与されます。

また、パネル討論会などを自由に計画してご応募頂く企画セッションの開催を本年度より予定しており、「土壌汚染とその対策」および「環境に配慮した空港をめざして：中部国際空港」についての 2 件の企画セッションを開催する予定です。

さらには、今回は愛知県における本シンポジウムの開催ということもあり、来年開催される今世紀最初の万国博覧会「愛・地球博」を対象として、その環境配慮に焦点をあてた特別セッションを行います。ふるってご参加いただきますようご案内いたします。

記

1. 主催 : 〔社〕土木学会（担当：地球環境委員会）
2. 日時 : 2004 年 8 月 2 日（月）・3 日（火）
（『地球環境技術賞・貢献賞』の授与式は、閉会式に行います）
3. 場所 : 名古屋大学環境総合館（東山キャンパス内） 受付は 1 階ロビーです。
（〒464-8601 名古屋市千種区不老町）
<交通アクセス>
名古屋市営地下鉄名城線名古屋大学駅下車，徒歩 5 分
名古屋市営地下鉄東山線本山駅下車 徒歩 10～15 分
<http://www.nagoya-u.ac.jp/sogo/higasiyama.html>
ただし、特別セッションは、同キャンパス内の「シンポジオン」にて開催致します。
4. 参加費 : 一般 7,000 円、学生 4,000 円（講演論文集代を含む）
特別セッションおよび 2 件の企画セッションの参加は無料です。（特別セッション、企画セッションのみの参加は、事前申込不要です。当日会場にお越し下さい。）
5. 特別セッション：
「2005 年万博はエコフレンドリーな 21 世紀市民社会のモデルを提示できるか」
日時：8 月 2 日（月）14:00～17:30
場所：名古屋大学シンポジオン（東山キャンパス内）
参加費：特別セッションのみ参加の場合は無料
定員：200 名（事前登録の必要なし）
会場の収容能力に限りがございますので、定員になり次第、入場制限をいたします。

6. タイムスケジュール： 網掛けは、公開の特別セッション、企画セッションです。

1日目(8月2日(月))

時間	第1会場 (1F レクチャーホール)	第2会場 (3F 講義室1)	第3会場 (3F 講義室2)
8:50 - 9:20	受付 (1F ロビー)		
9:20 - 9:30	開会挨拶		
9:30 - 10:50	環境低負荷型の 交通システム	物質循環・リサイクル	流域圏・水環境
10:50 - 11:00	休憩		
11:00 - 12:30	ポスター発表概要説明(6件)、 パネル展示概要説明(22件)		
12:30 - 13:00	パネル展示・ポスター発表(コアタイム) <パネル展示会場(1F ロビー)>		
13:00 - 14:00	休憩		
14:00 - 17:30	【特別セッション】 <シンポジオン>		

2日目(8月3日(火))

時間	第1会場 (1F レクチャーホール)	第2会場 (3F 講義室1)	第3会場 (3F 講義室2)
9:00 - 10:20	【企画セッション1】 土壌汚染	途上国の環境問題	気象・熱環境
10:20 - 10:30		休憩	
10:30 - 11:00			
11:00 - 11:10	休憩	土地利用・森林・バイオマス	大気環境
11:10 - 12:10	【研究小委員会報告】		
12:10 - 13:20	休憩		
13:20 - 14:20	環境低負荷型・環境改善型の 建設システム	物質循環・環境経済・ 環境政策(1)	海洋・沿岸
14:20 - 14:30	休憩		
14:30 - 16:30	【企画セッション2】 中部国際空港	物質循環・環境経済・ 環境政策(2)	地球温暖化
16:35 - 17:00	閉会挨拶・表彰式		

7. プログラム：

===== 1日目 (8月2日) (月) =====

8:50 - 9:20 受付【環境総合館1Fロビー】

【第1会場(1Fレクチャーホール)】

9:20 - 9:30 開会挨拶(委員長)

9:30 - 10:50 環境低負荷型の交通システム (座長:名城大学 大野栄治)

(1) 中国における都市交通機関の二酸化炭素排出原単位

フリー・コンサルタント 柳沢満夫

(2) アジア地域を対象とした運輸部門からのCO₂排出量の長期的推計

京都大学 明石修・松岡譲

(3) 世界交通学会における交通と環境に関する取り組み

名古屋大学 林良嗣

(4) アジア大都市における交通システムの持続性検証の方法論

名古屋大学 栗山和之・加藤博和・林良嗣

11:00 ~ 12:30 ポスター発表・パネル展示概要紹介

ポスター発表6件(50)~(55)、パネル展示22件(1)~(22)の紹介を行います。ポスター発表、パネル展示のリストは、プログラムの最後をご覧ください。

【シンポジオン】

14:00~17:30 【特別セッション】 (一般公開)

開会挨拶

青山 俊介 (土木学会地球環境委員会委員長)

基調講演

万国博の歴史と愛・地球博の意義について

- ・環境を視点としたこれまでの国際博覧会の経緯
- ・愛・地球博の意義
- ・今後の博覧会のあり方(中国上海につなぐ)

(財)2005年日本国際博覧会協会 黒瀬英治

愛・地球博会場整備のニューコンセプト

- ・環境に配慮した計画並びに実施状況

(財)2005年日本国際博覧会協会 林明

休憩

事例発表

国のパビリオンについて

(株)エックス都市研究所 山田芳幸

愛知県のパビリオンについて

愛知県 近藤朗、(株)第一工房 柳澤力

名古屋市のパビリオンについて

名古屋市 伊藤誠

主要企業のパビリオンについて

トヨタ自動車

トヨタ自動車 河合高志

電気事業連合会

電気事業連合会 小林信夫

閉会挨拶

北田敏廣 (地球環境シンポジウム実行委員長)

【第2会場(3F講義室1)】

9:30~10:50 物質循環・リサイクル (座長:豊橋技術科学大学 後藤尚弘)

(5) 複合静脈拠点の開発と事業化モデルの構築

(株)エックス都市研究所 小林均・吉川繁・河野有吾、早稲田大学 小澤一郎、東京大学 大西隆

(6) 環境省・神戸市における生ごみバイオガス化燃料電池発電実証施設

鹿島建設(株) 渋谷力

(7) PETボトル・使い捨てガラスピンの建設資材の1つであるタイルへの有効利用

和歌山高専 久保井利達・久保井徳洋・北野智法、関西大学 西田一彦

(8) 地球環境問題における廃棄物炭化処理の評価方法に関する予備的考察

京都大学 内海秀樹

【第3会場(3F講義室2)】

9:30~10:50 流域圏・水環境 (座長:日本大学 山敷庸亮)

(9) 世界自然遺産「白神山地」の自然環境 - 水・土の科学的評価 -

防衛大学校 徳田淳・山口晴幸

(10) 1998年の大洪水を想定した三峡ダムによる長江中流域の洪水抑止効果

国立環境研究所 林誠二・村上正吾・徐開欽・渡辺正孝

(11) 西安市における流域水資源需給将来予測に関する研究

名古屋大学 大西暁生、名古屋市 小澤亮輔、名古屋大学 森杉雅史・奥田隆明・井村秀文

(12) 地下水の適正利用を目指した総合的な地下水管理

大日コンサルタント(株) 松田康弘、大同工業大学 大東憲二・佐伯茂雄

===== 2 日目 (8 月 3 日) (火) =====

【第 1 会場 (1 F レクチャーホール)】

9 : 0 0 ~ 1 1 : 0 0 **【企画セッション 1】 『土壌汚染とその対策』 (一般公開)**

1. 土壌汚染研究会の発足と活動について
名古屋大学 佐野充
2. 土壌汚染に関する基本的な考え方
名古屋大学 辻本誠
3. 土壌汚染の調査分析
名古屋大学 星野光雄
4. 土壌汚染の対策
名古屋大学 村田静昭
5. 土地の流動化
名古屋大学 森杉雅史、林良嗣
6. まとめ
名古屋大学 佐野充

1 1 : 1 0 ~ 1 2 : 1 0 **【研究小委員会報告】 (座長 : 中央開発 (株) 宮本善和)**

1. 研究小委員会活動報告 (中間報告) : 都市域と森林域との連携にもとづく
資源循環システムの構築に関する研究 - 流域経営の視点から -
芝浦工業大学 松下潤、江戸川大学 恵小百合
2. 途上国の環境変動研究の文献調査と開発の進展を時間軸とした比較
- 途上国研究小委員会報告 -
横浜国立大学 柴山知也

1 3 : 2 0 ~ 1 4 : 2 0 **環境低負荷型・環境改善型の建設システム**

(座長 : 大同工業大学 大東憲二)

- (13) 建設工事における自然環境保全対策 - 沖縄ヤンバルにおける実践 -
電源開発 (株) 小松俊夫・坂田淳
- (14) 合理化橋梁のライフサイクル環境負荷とコストに関する研究
名古屋大学 坪内佐織・伊藤義人・金仁泰
- (15) 多目的ダムにおけるヤナギ類を用いた湖岸裸地対策
中央開発 (株) 大堀功尊・後藤正司、(財) 水資源協会 赤尾恒博

1 4 : 3 0 ~ 1 6 : 3 0 **【企画セッション 2】**

『環境に配慮した空港をめざして : 中部国際空港』 (一般公開)

1. 中部国際空港の計画段階での環境アセスメントと将来構想について
中部空港調査会 小林幸資、八百井英雄
2. 中部国際空港及び空港対岸部周辺における海域環境監視について
愛知県 馬場宗利、児玉博彦、石黒和博
3. 中部国際空港の空港用地造成における環境配慮について
中部国際空港 (株) 菅沼史典
4. 空港島護岸における藻場の造成について
中部国際空港 (株) 片岩憲成、米澤勝之、松並孝明
5. 空港施設における環境配慮への取り組みについて
中部国際空港 (株) 山口真市郎、西村尚己

1 6 : 3 5 ~ 1 7 : 0 0 **閉会挨拶・表彰式 (幹事長)**

【第 2 会場 (3 F 講義室 1)】

9 : 0 0 ~ 1 0 : 2 0 **途上国の環境問題 (座長 : 名古屋大学 柳下正治)**

- (16) Improvement of Social Disaster Environment of Developing Countries Arising from Model
Reference Adaptive Theory (モデル規範適応理論に基づく開発途上国の社会災害環境の改善)
北海道大学 山村悦夫
- (17) 都市貧困居住区におけるバイオガスプラントの衛生設備としての有効性 - バングラデシュ
のパウニアバード地区を例として -
国連大学高等研究所 山本 (佐藤) 裕子、鈴木克徳、環境人口研究センター ビルキス・アミン・ホック

- (18) 途上国における海域・湖沼に流入する1人あたり水質汚濁負荷量と経済的発展レベル
元宇都宮大学 都筑良明
- (19) ベトナム少数民族集落におけるエコロジカルサニテーショントイレ導入事業の実施
京都大学 原田英典・松井三郎・松田知成・清水芳久・内海秀樹、(社)日本国際民間協力会 小野了代
ニャチャンパストゥール研究所 Duong Trong Phi
国際コンサルティンググループ Winblad KAB Uno Winblad

10:30~12:10 土地利用・森林・バイオマス (座長:京都大学 米田稔)

- (20) 炭素収支変動評価を目的とした森林環境管理GIS
パシフィックコンサルタンツ(株) 野上浩典、国立環境研究所 山形与志樹
- (21) 世界の耕地分布推計手法の開発とその検証
京都大学 増富祐司・松岡譲
- (22) 全世界におけるバイオマステーブルの構築
京都大学 藤森真一郎・河瀬玲奈・松岡譲
- (23) 我が国の森林計画における持続可能な森林経営を目指した課題の調査に関する研究
大阪大学 小川浩司・丹治三則、産業技術総合研究所 恒見清孝、大阪大学 盛岡通
- (24) 気候変動による森林流域の変化 長良川流域を対象として
岐阜大学 篠田成郎・守利悟朗・和田祐典・亀原裕・山川淳平、岐阜市 片桐猛

13:20~14:20 物質循環・環境経済・環境政策(1) (座長:名古屋大学 佐野充)

- (25) 日・米・アジアの経済成長と環境資源の相互依存に関する研究
(独)土木研究所 中村英佑、名古屋大学 森杉雅史・井村秀文
- (26) 中国の経済社会の変化と環境法制の整備過程に関する考察 - 日中比較の観点から -
上智大学 魏旻、(独)国立環境研究所 楊瑜芳、芝浦工業大学 松下潤
- (27) 学際研究を視点にした流域管理モデルの試行とGISの応用 - 3大都市圏における流域環境容量の試算とGISによるシステム化 -
(株)竹中工務店 大西文秀

14:30~16:30 物質循環・環境経済・環境政策(2) (座長:名古屋大学 加藤博和)

- (28) 多地域間産業連関表(MRIO)を用いた中国省市レベルの環境負荷推定
名古屋大学 幡野貴之・奥田隆明
- (29) Decision Support EST Evaluation System for Sustainable Eco-Industrial Estates and Regions
(持続可能なエコインダストリアルパークと地域開発の評価システム)
東洋大学 藤田壮、デラサール大学 Shung Fung Chiu
元千葉県立中央博物館 都筑良明、東京大学 Per se Strutz
- (30) 地域有機物循環を実現する環境改善事業の設計と評価システムについての考察
東洋大学 藤田壮・吉本國春、岡山県 中田正明
(株)エックス都市研究所 鈴木進一・横山智子、JFEホールディングス(株) 山口安幸
- (31) 地域からの有機物の統合的な循環利用についての検討
東洋大学 藤田壮・小瀬博之・鈴木陽太
- (32) 物質循環状態評価に基づく新しい流域環境指標の提案
岐阜大学 篠田成郎・守利悟朗・和田祐典・山川淳平、中央コンサルタンツ(株) 田中雅彦
(株)創建環境エンジニアーズ 渡辺美帆、岐阜市 片桐猛

【第3会場(3F講義室2)】

9:00~10:20 気象・熱環境 (座長:(財)電力中央研究所 石井孝)

- (33) Implication of Local Flow in Western Java Area for Air Pollution Transport in Jakarta: End of Rainy Season (ジャワ島西部の局地風がジャカルタの大気汚染に与える影響:雨季の終わり)
豊橋技術科学大学 Asep Sofyan・北田敏廣・倉田学児
- (34) 洋上風力発電の検討を目的とした伊勢湾上の1km格子風況シミュレーション
岐阜大学 嶋田進、神戸大学 大澤輝夫、岐阜大学 深尾一仁・橋本篤・村上智一・安田孝志
- (35) 勝連トラパーチン舗装工のヒートアイランド現象抑制効果の定量化研究
(独)国立環境研究所 一ノ瀬俊明・新津潔、(株)三柱 小野塚孝・神野充輝
- (36) 様々な時間・空間スケールと流域特性を考慮した異常降雨のグローバル解析
京都大学 中北英一、(株)建設技術研究所 花房大輔

10:30~12:10 大気環境 (座長:名古屋産業大学 岡村聖)

- (37) 凝結核中に非水溶性ダストを含む場合の競合的成長による雲粒平衡半径
大阪大学 芝定孝・平田雄志、摂南大学 八木俊策
- (38) AOT40(0x)を指標とした関東地方のスギ衰退のGIS解析
(財)電力中央研究所 石井孝・松村秀幸・速水洋・河野吉久
- (39) 太平洋域大気エアロゾルの光学特性
(独)国立環境研究所 藤谷雄二、北海道大学 太田幸雄・村尾直人・山形定
鳥取環境大学 遠藤辰雄
- (40) エアロゾル全球化学輸送モデル(AGCTM)の開発と応用
豊橋技術科学大学 北田敏廣・我谷薫・倉田学児・白川夢・鈴木正沖、京都大学 山本浩平
- (41) 高活性炭素繊維を導入した通気性遮音壁の窒素酸化物除去効果について - 数値モデルによる検討 -
産業技術総合研究所 東海林孝幸、豊橋技術科学大学 北田敏廣
福岡県保健環境研究所 下原孝章

13:20~14:20 海洋・沿岸 (座長:茨城大学 三村信男)

- (42) 琉球列島での赤土汚染の実態と評価
防衛大学校 山口晴幸・斎藤和伸
- (43) Statistical analysis on alga blooming in Mikawa Bay, Central Japan using simulation results of hydrodynamic and ecological model (流動/生態系モデルのシミュレーション結果を用いた三河湾の藻類増殖に関する統計解析)
豊橋技術科学大学 アンガラ カシ・北田敏廣
- (44) 海面上昇に対するデルタの応答に関する研究
東京工業大学 赤松良久、ミネソタ大学 Gary Parker、長崎大学 武藤鉄司

14:30~16:30 地球温暖化 (座長:芝浦工業大学 松下潤)

- (45) 火災が環境に及ぼす影響評価 - 発生ガスと地球温暖化
諏訪東京理科大学 奈良松範
- (46) 温暖化影響評価のための高潮氾濫域の簡易推定法
東北大学 白岩淳一、茨城大学 三村信男
- (47) 温暖化研究データベースに基づく影響研究の現状把握
茨城大学 福原直樹・三村信男
- (48) パームオイル工場におけるCDM事業化に向けたベースライン方法論の構築
(株)エックス都市研究所 河村愛・鈴木進一
- (49) アジア巨大都市の民生部門二酸化炭素排出量予測と対策評価に関する研究
北九州市立大学 松本亨、吉林建築工程学院 韋新東、北九州市立大学 左健

===== ポスター発表題目一覧 =====

【ポスター発表・パネル展示会場(環境総合館1階ロビー)】

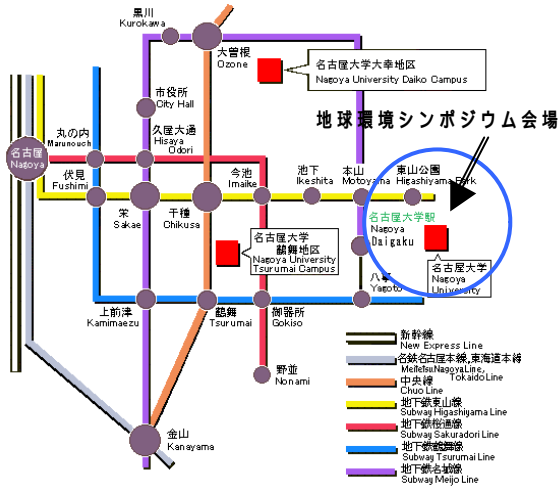
- (50) モーダルシフトの推進によるCO2排出削減目標達成の可能性
大阪府立工業高等専門学校 平山秀夫、鳥取大学 本田尚正
- (51) 生産者・消費者・生活協同組合間における環境配慮に係わる信頼形成要因の考察
京都大学 渡辺雅士・松井三郎・内海秀樹
- (52) 中国の自立型バイオエネルギー生産と環境保全
(独)国立環境研究所 楊瑜芳、循環共生社会システム研究所 内藤正明
- (53) 都市内大規模河川(ソウル市清溪川)の復元による暑熱現象改善効果の実証
(独)国立環境研究所 一ノ瀬俊明、東北公益文科大学 白迎玖
大韓民国気象庁気象研究所 巖香姫、東京都立大学 三上岳彦
- (54) 広島市における酸性雨の生成機構に関する研究
広島大学 中村剛志・澤村雄介・陸田秀実・土井康明
- (55) 廃棄物海面処分場からの汚染物質漏洩防止機構に関する検討
三菱重工業(株) 高木克実・大川賢紀・荒木健二・池末俊一
(財)港湾空間高度化環境研究センター 長澤次次郎

=====
パネル展示題目一覧
 =====

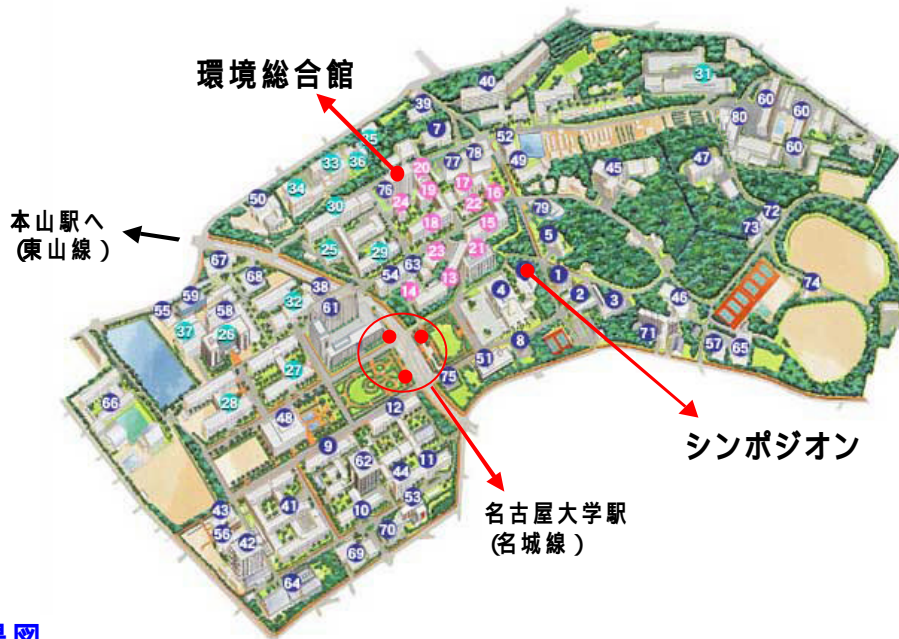
【ポスター発表・パネル展示会場（環境総合館1階ロビー）】

- (1) 地球熱利用換気システム「GEO（ジオ）パワーシステム」
 株式会社ジオパワーシステム
- (2) 環境負荷低減を考慮した大規模廃棄物最終処分場の建設
 旭川市環境部、株式会社ホージュン、飛鳥建設株式会社
- (3) G C Pによるフローラ形成と拠点分散型水循環システムによる環境共生原理の実践
 海水化学工業株式会社
- (4) やまぐちエコスクール研究会
 やまぐちエコスクール研究会
- (5) 新聞紙（木質繊維）の再利用によるセルロースファイバー断熱材の製造・施工
 株式会社デコス
- (6) 南太平洋島嶼国と気候変動・海面上昇 - 気候変動への対応力形成を目指す日本の国際協力 -
 茨城大学都市システム工学科、環境省、南太平洋地域環境計画
- (7) 生ごみバイオガス化システム メタクレス
 鹿島建設株式会社 環境本部
- (8) 大阪ガス実験集合住宅 NEXT21 居住実験報告
 大阪ガス株式会社
- (9) 湖岸法面の裸地対策～ダム湖の湖岸をヤナギ類で復元する～
 中央開発株式会社 東京支社環境計画部・事業推進本部、財団法人水資源協会 環境・調査部
- (10) 多自然型調整池の計画・設計手法
 清水建設株式会社
- (11) 石炭灰から生まれた人工ゼオライト
 中部電力株式会社
- (12) ヒートアイランド現象を緩和する舗装
 矢作建設工業株式会社土木技術部・ヤハギ道路株式会社
- (13) 環境再生への取り組み / 環境中の微量化学物質への取り組み
 国土環境株式会社
- (14) 下水汚泥溶融スラグの建築資材・道路資材へのリサイクル
 鹿島建設株式会社 環境本部
- (15) 土壌汚染対策技術
 株式会社大林組
- (16) 「愛・地球博」における環境配慮について
 財団法人 2005 年日本国際博覧会協会
- (17) 東海環状自動車道におけるホタル護岸の創出
 国土交通省 中部地方整備局 名四国道事務所
- (18) 国道1号箱根エコパーキング整備
 国土交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所
- (19) 飛騨地域における自然環境の保全・創出について
 ～アカンダナ地区哺乳類ボックスカルバートの利用状況～
 国土交通省 中部地方整備局 高山国道事務所
- (20) 自転車マップ 愛・地球博VERSION
 国土交通省 中部地方整備局 名古屋国道事務所
- (21) グリーン庁舎（環境配慮型官庁施設）について
 国土交通省 中部地方整備局 営繕部
- (22) 2005年日本国際博覧会日本館における地球環境への取り組み
 国土交通省 中部地方整備局 営繕部 建築課

名古屋大学東山キャンパスアクセスマップ



名古屋大学東山キャンパス キャンパスマップ



環境総合館会場図

